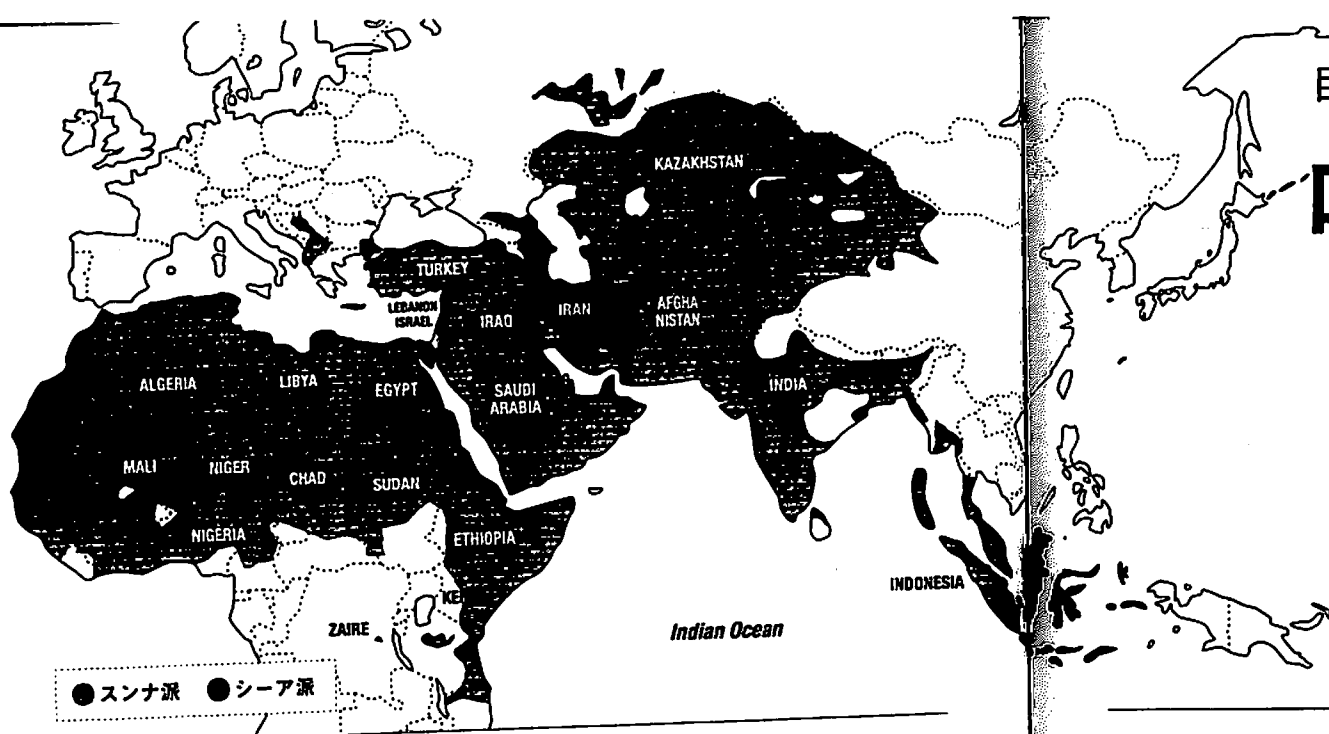


# 中東ABC

酒井啓子



## 第四回 中東の中心でなんか叫ぶ

—シーア派、スンナ派は本当にケンカしてるのか

いじめのことを考えていたら、パレスチナのことを思い浮かんだ。パレスチナのことを考えたら、イラクに来ていた。パレスチナに行く途中で、どこかで落っこちちゃったんだろう。

イラクのファールージャの街で子どもが爆弾を握り締めていたの、それをどうするのかと聞いた。敵をやっつけるのだと言った。敵とは誰かと聞けば、自分たちを占領している米軍兵士だと言った。四年前、戦争で自分たちの街に戦車でやってきて、以来、日々、自分たちの生活は米兵に監視されている。あちらこちらに検問所が出来て、移動もままならない。農地を奪われ仕事もなく、巨大な監獄のなかで生活しているようなものだ。オヤジは米兵にしょっぱかれ

ていったし、アニキはテロリストだと言われて殺された。自分だけが生き残って、のうのうとしてられると思うか？

だが子どもの投げた爆弾は、イラク人の警備兵に当たった。周りにいたイラク政府の役人とイラク人警官が、ばらばらになってぶつとんだ。  
いいの？ 同じイラク人を殺すちまったじゃないか？  
いいんだ、と子どもは言う。あいつらは米兵と一緒に、俺たちをダンアツしている。米軍が政権をひっくり返したのを利用して、ちやっかり政府に成り上がったヤツラなんだ。バイコドなんだ。  
生き残ったイラク人警官が、言う。何を言う。お前らがフセインと一緒に俺たちをダンアツしてきたんじゃないか。お前らは

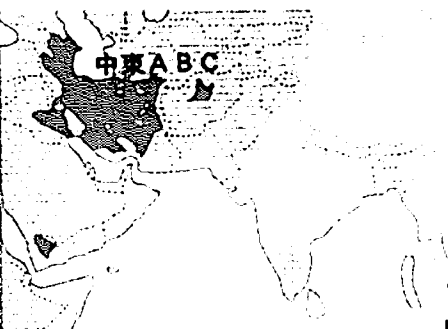
フセインと同罪の、独裁の手先だろう。

こんな売国奴なヤツラはイラク人じゃない、と、子どもの母親が言う。だからシーア派ってのは、信用できないんだよ。同じシーア派のイランと通じて、イラクをイランの属国にしようってハラだ。私らスンナ派こそが、正しいアラブ民族なんだよ。

聞いたか？ シーア派の警官が気色ばんだ。これがスンナ派の連中の本音だ。俺たちはシーア派だけれども、レッキとしたアラブ民族だ。それをフセインが、「シーア派はイラン人だ」などと、根も葉もないことを言っただけで俺たちをダンアツしてきた。ただ宗派がシーア派だから行くところがなくて隣国のイランに行って、でもそのイラン

でも言葉も通じないし、俺たちの苦勞なんて、フセイン政権のもとでのうのうと政府の要職についていたスンナ派の連中にはわかるわけがないんだ！

私はスンナ派だが、妻はシーア派だ、と、スンナ派の高校教師が言った。別にシーア派だからといって、弾圧されていたわけじゃないさ。スンナ派だろうがシーア派だろうが、良識ある知識人はフセインに批判的だったさ。私のように、スンナ派で投獄されて拷問を受けた人たちが多かった。それを、今のイラク政府もアメリカも、すべてスンナ派がフセインのもとでいい思いをしてきたと思っ込んで、私たちの人生をめちゃくちゃにしたんだ。妻は、スンナ派の私と夫婦なのはいいかん、と親戚に言われて、実家に連れ戻されてしまった



んだぞ？

投獄されるくらいですんだら  
ろ？ スンナ派の君は、と、シー  
ア派の説教師が言った。我々は  
代々、シーア派のモスクで説教し  
てきた名家だ。イランでイスラ  
ム革命が起きたときには、感動し  
たよ。我々も革命を起こして、フ  
セインの独裁をひっくり返せると  
思っ、立ち上がったんだ。ちょ  
うどベルリンで民衆が壁を壊した  
ようにね。だが、フセインの暴力  
は徹底的だった。一族皆殺しにな  
る直前で、私はイランに逃げた。  
その後ずつと、イランでフセイン  
転覆の機会を窺っていたんだ。こ  
の苦勞が、スンナ派の君たちにわ  
かるかね？

「冗談じゃないね、と、シーア派  
の労働者が言った。イランに逃げ  
たような腰抜けシーア派と、俺た

者のフセインは、シーア派のイラ  
ンと戦争していながら、クルド人  
を殲滅することのほうを優先した  
んだぞ。

クルドのヤツラこそ信用できな  
いよな、と、シーア派の民兵が言  
う。議会で多数派を取るためには  
あいつらと連立しなきゃなんない  
が、あいつらだけに油田の利権も  
つてかれてたまるもんか。

そうだな、と、スンナ派の地主  
がこつそりと、言う。クルドにい  
い思わせないように、多少はシ

ちを一緒にして欲しくなんかない  
ね。あんたらがイランの坊主に囲  
まれてのんびりと暮らしていた四  
半世紀、俺たちはフセインに徹底  
的なサベツを受けて、仕事もねえ、  
自由にモノも言えねえ状態で我慢  
してきたんだ。政府にタテつかない  
ような顔して、アイツらがいな  
くなるのを心待ちにしていたのは、  
俺たちさ。イランもアメリカも、  
外国なんて信用できねえ。フセイ  
ンのと、本当に権利を享受すべ  
きなものは、俺たちイラクにいたシ  
ーア派の貧乏人たちさ。

だったら、と、スンナ派の農夫  
が言う。あんたらはなんで俺たち  
を攻撃してるんだ？ 俺らと一緒に  
にアメリカをやっつけりゃいいだ  
ろうがよ。

愛国主義を気取ってたって、シ  
ーア派の連中は結局、今の「勝ち

ーア派の職員連中とも話さによい  
かな。テロが続いて、シーア派  
の連中が困って下手に出るようにな  
ったら、今度打診してみるか。

見たか？ と、オレの隣に立っ  
ていた米兵が言った。これだから、  
イラクはまとまるはずがないんだ。  
アラビアのロレンスの昔から、せ  
っかく先進国から来た俺たちが指  
導し、正しく導いたって、これじ  
ゃあ豚に真珠だろ？ こんな連中  
のために、アメリカ国民の尊い命

組」のなかでポストが欲しいって  
わけさ、と、スンナ派の元兵士が  
言う。アメリカを追い出すには、  
結局、俺たちみたいなエリート軍  
人が動かなきゃだめなんだ。シー  
ア派だのスンナ派だの、貧乏人は  
いじめられ度合いの競争でもして、  
生き残った自賈の念にかられて殺  
しあつてりゃいいのさ。最後はア  
メリカも、一番の実力者は軍人だ  
つてことに、気づく。もう一回、  
イラクを軍人に任せて、それでお  
終い。

軍の独裁だけは許さないぞ、と、  
クルドからやってきた商人が、言  
う。フセインの時代、イラク軍が  
クルド人に対して何をやったか、  
覚えてるか？ 化学兵器を使って  
村ひとつ殲滅して、シーア派だろ  
うがスンナ派だろうが、アラブ人  
は信用できない。アラブ民族主義

を捨てられるかよ。

そうだな、とつと帰ったほう  
が身のためだな、と、オレは言っ  
てやった。

先進国の正しい兵士には、自分  
たちが来たことでこんなふうになっ  
ラク人同士が殺しあうことになっ  
たなんて、良心がとがめることも  
ないだろうからな。

再びオレは、日本のいじめのこ  
とを、考えていた。(続く) **S**

酒井啓子

東京外国語大学大学院地域文化  
研究科教授(イラク政治)